

9月 定例会

regular meeting

平成18年9月定例会は、9月15日から28日までの14日間の会期で開催しました。

補正予算や条例改正などが提案され、すべて原案どおり可決（認定）しました。

特集

平成17年度一般

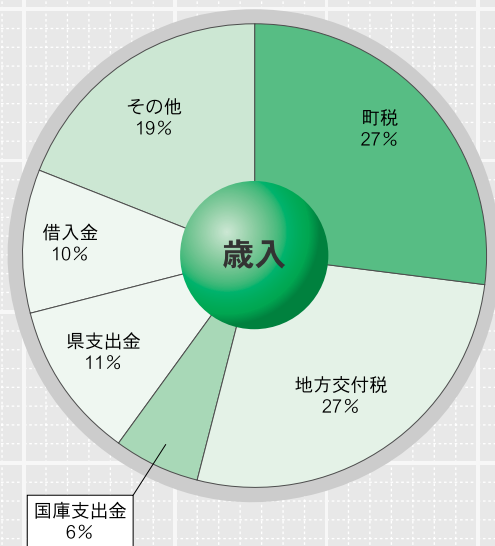
歳入46億3550万3千円

厳しい経済状況で、町税・地方交付税が思うように見込めず…

差引残高1億

平成17年度一般会計決算を3つしました。慎重に審議した結果、

歳入



科目	決算額	前年度との比較
町税	12億3765万3千円	△0.4%
地方交付税	12億3249万7千円	△3.4%
国庫支出金	2億5693万8千円	0.8%
県支出金	5億223万4千円	△2.8%
借入金	4億6129万7千円	△14.4%
その他	9億4488万4千円	△11.9%
合計	46億3550万3千円	△5.4%

(注1) △はマイナス
(注2) 千円未満は四捨五入

第3決算審査特別委員会 (建設経済常任委員会)

- 麦・大豆種子更新事業では、更新件数が見込みほど伸びず不用額が生じた。
- 測量登記は、不動産登記法の改正により事業が進まなかったこと、また技術職員で対応したことにより、委託料に不用額が生じた。
- 平成14年度の水路工事で家屋損害の訴訟があったため、平成16年度から工事前に家屋調査を実施している。
- 今後も健全財政の堅持を図りながら、計画的に予算執行を行われない。

- 者になる前の予防対策の強化が必要で、町健康福祉センターを有効活用し、予防医療対策を行われない。
- 井戸水やクリークの水質検査で、不適合や水質汚濁の環境基準を上回る結果が出ている。早急な対策をとる必要がある。また、合併処理浄化槽を年100基の計画で設置しているが、全町設置するならば40年かかるので、設置方法も含めて検討すべきである。
- ゴミ袋の値段を上げたものの、燃やすゴミの量は増え続けている。循環センターの稼働結果に期待している。
- 社会教育事業の内容を一工夫して、参加者の増加を図りたい。
- 給食費の未納に対し、引き続き徴収に努められたい。